

関西電力・耳より情報・あれこれ

A：原発運転後の核燃料を、使えるウラン・プルトニウム・高レベルごみに分ける再処理工場は、既に建設費だけで2兆円を超えているが十分な運転は出来ず、貯蔵施設は満杯に近づいている。

ここで処理するための積立金は右表の様に莫大な金額であり、有効な運用をはかるべだろう。

使用済み核燃料再処理等積立金の残高及び運用状況

この積立金2兆6572億円の運用も一つの道

公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター

再処理等積立金残高

◎平成23年度積立金残高増減実績表

百万円

	残高(前年度末)	増加	減少	残高(当年度末)
積立金受入	4,058,468	500,783	0	4,559,252
積立金取戻	1,616,879	0	285,215	1,902,094
合計	2,441,589	500,783	285,215	2,657,158

(注) 百万円未満は切り捨てているので、合計とは端数において合致しないものがある。

B：値上げするための「総括原価」の中に「公租公課」という関電が払った税金の実態は下記の通りである。こうして見ると消費者が電気料金の中に含まれて払っている電源開発促進税が巨額を占めている。法人税は驚くほど低額だ。

関西電力が払った税金 (百万円) 有価証券報告書より									値上げ申請の 公租公課費用
	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	
法人税及び住民税	114,614	88,357	64,184	30,394	0	51,942	80,403	0	176,100
法人税等調整額	-51,152	-3,026	7,639	9,560	-12,509	2,075	-23,046	-53,491	
過年度法人税等			-	-	2,353	-	-	-	
事業税	26,789	26,693	26,514	27,292	27,560	25,671	27,063	25,353	
電源開発促進税	62,256	59,724	60,189	57,915	56,303	54,636	58,466	56,618	
三税計	152,507	171,748	158,526	125,161	73,707	134,324	142,886	28,480	
固定資産税	59,784	60,581	58,172	56,699	54,698	53,242	53,168	54,933	
水利利用料	4,383	4,405	4,404	4,404	4,398	4,401	4,406	4,401	
雑税	7,524	7,988	8,212	5,709	8,767	8,035	9,764	7,511	
合計	224,198	244,722	229,314	191,973	141,570	200,002	210,224	95,325	

電源開発促進税は、現在1KWH当たり37.5銭を市民から電気代の中で徴収し、電力会社として営業費用から落とし国に納めている
電気料金領収書には記載されていない

C：重役の高額所得・自民党への献金、社員議員の育成・報酬二重払い、等々。

◎年収5千万円に+数多くのグループ会社役員も兼務する高額。かつて小林・秋山元会長への退職金はそれぞれ16億円・10億円だった。

◎「政治献金はしていない」と云いつつ、各役員同額に統一し一斉に毎年政治献金してきた。

◎朝日新聞 2012/11/25 報道。原発を持つ電力会社9社に現役社員のまま地方議員になっている「社員議員」は99人。うち91人は議員報酬とは別に会社から給与を受け、さらに関電や東北電力のなど6社52人は議会活動で会社を休んでも有給となる「特例」をもうけている。

D：右グラフは=LNG価格の市場動向

